



第719号

発行人 ● 豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人 ● 長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村

(1月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,333人
女 3,375人
総人口 6,708人
世帯数 2,202戸

陣馬形山より段丘の豊丘を臨む

新年のあいさつ
「しばらくは離れて暮らす」と「コロナ」と「ナ」
つき逢ふ時は君といふ字に」
©タナカサダユキ
村長 下平喜隆



村民の皆様、明けましておめでとうございます。

毎年の新年のあいさつと言う事ですが、今年はいつもと違う様相の暮れと正月になりました。新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックにより、我が国も観光業、飲食業をはじめ様々な業種で廃業や業務縮小、転業の危機にさらされています。

昨年の夏から秋にかけて、少し感染拡大が抑えられたと思われた新型コロナウイルス感染症ですが、第三波による急激な感染拡大により緊急事態宣言が再度発令され、忘



新年会、旅行のキャンセルなどで、様々な業種で再度経営の危機に見舞われています。村といたしましては、国からの第三次新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の施行の内示を受ける中で、至急即効性のある経済対策を実行してまいります。村民の皆様のご家庭でも都市部からの子どもさんや、お孫さんの帰省を自粛したり、恒例の二年参りもかなわなかったと言った事で、いつもに比べて寂しいお正月を過ごされた方が多いと思われると思います。

新型コロナウイルス感染症によつて今試されているのは、私たちの絆の強さです。



明けましておめでとうございます。

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスは未だ終息がみえない状況で、感染者数も日々過去最多を更新し、加えて変異種も発生し、二度目の緊急事態宣言の発令となつてしまいました。村民の皆様におかれましては、例年とは少し違った新年を迎えることと思ひます。年が改まりました。諸手を挙げ

新年を迎えて
「SDGs推進センター的機能」を有する公民館に
公民館長 市澤和宏

す！
そろそろ村民からコロナ感染者が出てもおかしくない状況にあります。もちろん皆で感染防止対策に努めなくてはなりません。誰もが罹る可能性がありますが、狭い社会の中なので感染者が特定されてしまうかもしれません。ぜひ皆さん

は節度ある対応で、感染者を守ってください。悪いのは新型コロナウイルスです。豊丘村では村を挙げて感染者の権利を守る「シトラスリボン運動」に取り組んでいます。

避けるよう要請され、本来あるべき人間社会・地域社会がその生活形態の転換を迫られ、そのツケがいつか回ってくるのではないかと懸念されます。

村民の皆様には、今年一年がよいお年でありますように。

そんな中、一縷の光明と感じることがあります。それは国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)です。これからの公民館が担っていくべき機能として「SDGs(学校関連ではESD)推進センター的な機能」が、「学習と実践活動の拠点機能」「地域活性化・創生センター的機能」と共に要求されています。SDGsの十七の目標は、貧困や飢餓、環境問題、経済成長、ジェンダーに至る広範囲な課題を網羅しており、豊かさを追求しながら地球環境を守り、誰一人取り残されない。人々が人間らしく暮らして行くための社会基盤を達成することが目標とされています。

「人に迷惑をかけてもいいんだ。人は誰もが、人に迷惑をかけなければ生きていけない存在なんだ」という発想へ転換してみようという話であった。

正に公民館という目標であり、これに呼応した公民館を目指して、本年積極的に踏み出したいと考えています。よろしく願ひいたします。

成人式延期とコロナ禍の中での人権を考える

今年度の成人式は祝賀会を行わず、式典のみ挙行するよう準備を進めてきたが、飯田保健所管内でも新型コロナウイルス感染症のクラスターが確認されたことから、年末の十二月二十七日に成人式の延期を決定した。生活の全ての場面でまず「コロナ」を考えて行動しなければならぬ日々がまだまだ続きそうだ。

さて、一月八日の公民館学習会では、「コロナ禍の中での人権を考える」と題し、南信教育事務所長の牧野孝裕先生に講演いただいた。飯田の飲食店が閉店に追い

込まれた話では、原因は根拠のないデマ情報だった。当事者の方々は、切なくやり切れない思いだっただろう。家族や友人を案じるあ

ればならない。また、進行性筋ジストロフィーという難病を患う鹿野靖明さんと彼を支えたボランティアの物語「こんな

段丘

二〇二〇年は新型コロナウイルスの影響が甚大な経済危機をもたらした年となり、どの業種も売り上げが半減したり倒産の危機に遭遇したりと、社会にとって庶民にとって苦勞の連続の一年となった。中小企業や個人経営者には持続化給付金なるものが国より支給されたが、それでもやりくりには相当苦勞し乗り越えたにもかかわらず、ワクチンの開発が長引き接種されるまで不安の毎日が続く。

中国の河北省武漢が発生源とされるこのウイルスは、世界中を危機に陥れ今なお第三波までに発達し、海外および国内経済の混乱を招き猛威を振るっている。長野県でも陽性患者が多く確認され、次第に南信までその手を広げつつある。ウイルスを何としてでも防ぐ手立ては無いに等しいが、人との距離を保ち集まつの会合・会食を避ける、手洗いなどの自己防御と感染しないようにマスクの着用など個人での防御を考へる必要性が社会現象となった。

海外に比べ日本人はマスク着用の日常をおこなうことにあまり抵抗が無かったことから、大きなウイルス蔓延の危機は防ごうとできなかったが、真面目な気長な頑張り抜く気質の日本人に敬意を表するのだ。

新しい年になつてもこの日本人気質を大切に、ウイルスに對抗し勝利を勝ち取りたいものだ。

宮下正弘

(教育委員会事務局 松村佐織)

シリーズ「元気が高齢者」⑦ 小柄な体格に柔和な笑顔 前向き人生に悔いは無し

毛涯 義見さん 九十五歳 中部二在住



た製糸工場で機械の動きを飽きること無く興味深く眺めていることがしばしばであった。母親の死後、家族を養うため懸命に働く父親の姿を見ていたこともあり、小学校高等科を卒業後は、当時盛んであった県道の普請工事に就いた。まだ成人の体には至っていないが、家計の一助になるのだとの気概を込めてひたすら働いた。やがて豊川の海軍工廠に行き機銃関連の生産に従事した。数万人が働く巨大な工場に圧倒された。そして昭和十九年の徴兵検査に合格、翌二十年に

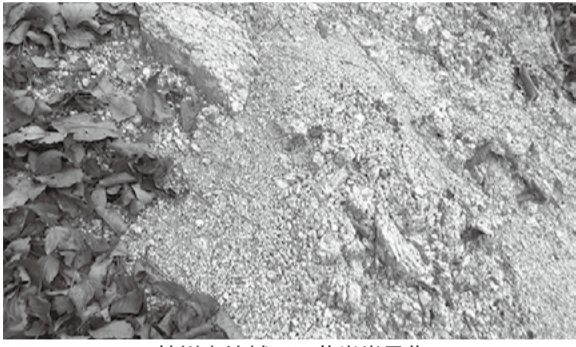
大正十五年、四人きょうだいの長男として農業を営む両親のもと、現在地に生まれたが、母親は病弱であり、三十八歳の若さで亡くなった。義見さんは小学生当時から好奇心溢れる少年であり、自宅近くにあつ

蛇川下流域三六災害体験談(20) 蛇川が土砂をたくさん流すのは、なぜなのか?

原 章(古畑)

☆蛇川上流部では花崗岩の風化が常に進行☆
前回までに触れましたが、蛇川では大きな堰堤を築いても、すぐに満杯になってしまいます。また、三六災の時には上流からの土砂などが蛇川下流域で堤防ぎりぎりになるほど大量にたまりました。これらのことが、どうして起こるのでしょうか。

☆風化した小石や砂は、常に少しずつ下流に流れる一方、上流にたまっている☆
花崗岩は風化して細かくなり川を下って来ます。そうやって一定程度が常に流れ、途中で堰堤などがあればたまります。時間が経過すれば、それが結構な量になるのです。堰堤も何年かすれば一杯になるのです。常に流れて来ているのは風化土砂の一部です。かなりの量は上流にそのまま残り続けます。年月が経てば蛇川上流の無数の谷で相当の量がたまるわけです。



蛇川上流域での花崗岩風化

(続く)

無尽講とその終焉 武田英美



一般庶民的な金融機関のない頃、零細な百姓は少し大きな金の必要な場合、何ともしようがなかった。明治の終わり頃から大正の初め頃は、10円の金を個人から借りるにも信用のある人の請け判(保証人)を立てて平身低頭借り出した。

またこの利息も年利1割(10%)から1割5分(15%)という高利が普通であった。市街地には銀行はあっても少しまとまった金を借りるには相当な財産があつてこれを担保しなければ借りられない時代であった。零細な百姓は仲間力により相互の助けあいにより細かい金を出し合つて融通しあう頼母子講(仲間講または無尽と言った)を始めた。

ここで元競り講と利競り講の例を挙げる。
元競り講は一口の元金25円20口にて構成した場合、金500円の講。これを競り遭つた場合、500円以下でもっとも低い金額を入札した者が落札者となり、これを未取口数で割つた額がその回の掛け金となる。返金

者以後毎回、定額の25円宛を返金していく。
利競り講は、前例と同じ場合、元金500円に対する年利を競り、1割5分と1割3分の入札があれば利率の高い1割5分を入れた者が落札者となる。落札者は500円の1割5分である75円を返金することとなる。掛金者は元金より返金の額を差し引いた額を未取口数で割つた掛金をその回の掛け金とする。相当な高利に競り合う場合があるので、回数を重ねると返金額が元金より多くなり、この場合は割り戻し金として全口数に割り戻していく仕組みである。
農村の唯一の金融機関であつたから、最後(満々)まで確実に運営させるために世話人4、5人を置き、一切の事務、勘定を総括し、書も世話人において管理し、万一反金者(債務者)が期日に返金できない場合などは世話人はきびしく督促して整理した。講会の会場は前回の落札者のところを順次回つて行われた。またおおむね1月と8月の年2回建ての講であつた。
このような講がこ堀越には大小30くらいあつたと思われる。明治の終わり頃から大正と昭和の初め頃の不況を乗り越つたのであつた。以後、無尽講は存立しないことを申し合わせ、明治以前からあつたと思われ

る伝統ある農村の庶民金融機関として重要な役割を果たしてきた無尽講もまた途絶えてしまった。
(豊丘村民話集・第巻(昭和五十二年)より)
文責：壬生雅穂

が楽しみとする場となつて、当時の飯伊地区の先駆けとして、村内の給食センターはもとより遠く関東、関西方面まで出荷して会社を拡大させた。設立の当初、飯伊市の食品市場において知人と偶然出会い、丸一通商の縁ができたことが大きな要因であつた。新鮮なものを提供したいとの一心であつた。その本業の傍ら友人と共に乳牛、豚などの飼育にも関わり多角経営を成し功させた。一方、公務でも活躍し河野区の土木から始め、区長までの計十四年間勤めた。その間、大宮神社のおかめと獅子舞の礎を築いたことは大きな誇りである。区長当時、『りんごっこ公園』造成計画に対して周囲の猛反対を押し切り完成させたが、今では子供達

若い頃は仕事一筋で、これと言つた趣味を持たなかつたが、会社経営当時に社員旅行で全国各地を巡つたこと、今でもそうなくなつたが、一緒に通つた小学校時代の同年生との集いなど、懐かしい思い出が蘇る。又きょうだい全員が健在であり、時々ではあるが全員が顔を合わせるのを皆が楽しみにしている。
平成の終わりまでの三十三年間会社を経営したが、大手の進出が始まり価格的に太刀打ち困難と判断し廃業を決断した。現在は自宅での野菜作り、更に小一時間の散歩などが日課となつて

健康維持に留意している。特にクイズ・パズルが好きで、新聞などの当該欄で間違い探しを中心に毎日脳トレに励んでいる。始めたからには徹底して続けるのが幼少時からの性格である。アルコールは消防に所属していた頃はかなり飲んだが、最近ほとんど飲まない。七十歳を過ぎて始めたマレットゴルフは仲間の減少と共に、足が遠のいてきたのは一抹の寂しさがある。車の運転免許は昭和二十七年に取得し長年重宝してきたが、最近の高齢者の事故報道の多さに感化され、また周囲の勧めもあり九十歳前に返納した。富士山には直近の一昨年秋を含めて五回登頂している。普段のウォーキングで自然と鍛えられた健脚は衰えを知

て生きてきたのである。さてこの講には元競り講と利競り講の二種があつた。元競り講は元金を競り、この競りの強い者(低額なもの)が落札者となる。利競り講は元金に対する年利を競り利率のもっとも高いものが落札者となり、いずれも入札で決めた。一家の事情によりどうしても金の必要な場合は極力競らねばならない。
ここで元競り講と利競り講の例を挙げる。
元競り講は一口の元金25円20口にて構成した場合、金500円の講。これを競り遭つた場合、500円以下でもっとも低い金額を入札した者が落札者となり、これを未取口数で割つた額がその回の掛け金となる。返金

者以後毎回、定額の25円宛を返金していく。
利競り講は、前例と同じ場合、元金500円に対する年利を競り、1割5分と1割3分の入札があれば利率の高い1割5分を入れた者が落札者となる。落札者は500円の1割5分である75円を返金することとなる。掛金者は元金より返金の額を差し引いた額を未取口数で割つた掛金をその回の掛け金とする。相当な高利に競り合う場合があるので、回数を重ねると返金額が元金より多くなり、この場合は割り戻し金として全口数に割り戻していく仕組みである。
農村の唯一の金融機関であつたから、最後(満々)まで確実に運営させるために世話人4、5人を置き、一切の事務、勘定を総括し、書も世話人において管理し、万一反金者(債務者)が期日に返金できない場合などは世話人はきびしく督促して整理した。講会の会場は前回の落札者のところを順次回つて行われた。またおおむね1月と8月の年2回建ての講であつた。
このような講がこ堀越には大小30くらいあつたと思われる。明治の終わり頃から大正と昭和の初め頃の不況を乗り越つたのであつた。以後、無尽講は存立しないことを申し合わせ、明治以前からあつたと思われ

る伝統ある農村の庶民金融機関として重要な役割を果たしてきた無尽講もまた途絶えてしまった。
(豊丘村民話集・第巻(昭和五十二年)より)
文責：壬生雅穂

2021年紙上年賀状 新年の抱負

年男・年女 がんばるもう~

そのためには、みんなと協力するのも大切。みんなと協力し合ったり、笑い合ったりしてすてきな一年を過ごしたいなと思います。みんながけんかやいじめをせずに笑い合う、すてきな毎日になるといいです。

二〇二一年にがんばりたいこと
壬生江輝(壬生沢西)



ぼくは、今年六年生になります。六年生になったらがんばりたいことがあります。

それは、授業で発言することです。ぼくは、あまり人前でしゃべることが得意ではありません。でも、自分の思ったことや考えたことを勇気を出して周りの人に伝えることで、自分の気持ちや考えを分かってもらえると思います。そうすることで、もっとクラスの友達や周りの人と仲良くなれると思います。

今年から六年生
毛涯羽望(市ノ沢)



わたしは今年で六年生になります。

小学校で一番上の学年になります。新しく入ってきた一年生や低学年に分らないことがあったら、やさしく教えてあげたいなと思います。六年生になると、児童会を引っぱっていきこうになるので、いっしょけんめいがんばっていきたいと思います。

昨年を振り返ってみると就職をし社会人一年目で覚えることが多く、毎日が勉強でした。また、資格取得のための試験にも挑戦することができました。

新年の抱負としては、引き続き、資格試験の勉強に励み、今までの経験を生かして、新たなことにも取り組んでいきたいと思っています。

最近、なかなか身動きが取れず、息苦しい世の中になってしまいました。健康に気をつけながら頑張りたいです。自分にとって皆さんにとってもよい一年になりますよう願っています。

新年を迎えて

黒田美佳(北市場二)



新年、明けましておめでとうございます。二〇二〇年はコロナにより前例のない年となりました。常に目の前の状況を観て、何を選択していいのか、その判断をし続けた年だったと感じております。移住して早

二〇二一年

片桐雅博(林里二)



昭和四十八年生まれの私は四十八歳になります。毎年何となく年を重ねてしまっていますが、やはり年男の一年は何か特別なものを感じます。

近頃は近くの文字にピンと合わなくなってきたし、腹が出て体重も増える一方です。努力を少しでも若々しくありたいと思います。

新年の抱負

筋トレをして少し痩せたい。オイカワから盗塁を決めたい。マコからホームランを打ちたい。ヨンプチでもう一度全国大会に行きたい。修士号を取りたい。焼肉小屋で宴会をしたい。みんなで仲良く平和に暮らしたい。

人生の再スタート

深水教之(北市場二)



新年明けましておめでとうございます。私は、今年年男で還暦を迎える年となります。還暦は、人生の一つの節目であり、後半に向けてのスタートの年であると考えております。自分自身の健康、仕事、環境等を

再検討し「豊かな人生」を送る第一歩を踏み出す年としたいです。豊丘村に居住し十年になります。子供達も、小、中、高校と豊丘村で成長しました。他から転居して思うのですが豊丘村は大変穏やかで住みやすい村です。「コロナ」禍ではあります。今年が村民の皆様にとって平穏な年であることを祈念致します。

今年こそ良い年であらう

福澤英夫(城)



私達には四人の子供がいます。みな配偶者を得、孫が九人、私達夫婦を合わせる十九人の家族となります。それが益暮れに集まり大宴会に、そして集まった全員で写真を撮り今年が孫が増えたこと喜んでおりました。昨年は外国に住んでいる娘の家族が帰ってくることに、久々に全員集まることのできる楽しみになっていたのにダメ。私も古希を過ぎ夫婦で旅行でも楽しもうと思っていた矢先、庶民のささやかな幸せをつぶされた。「につくきコロナめ！」

このコロナで多くの人が亡くなり、経済や社会に大きな影響を及ぼしています。その日の生活にも苦しんでいる人もいます。ただ私達は耐え忍んでいくことしかできない。早く収束し平穏な生活に戻れることを願うばかりです。

俳句 短歌

山巒はそれぞれの色冬うらら子等と訪ふ寺も社も落葉霏々
コロナ禍や逢へぬ日続く冬の空
星空に風ふんわりと今朝の雪
谷へだて望むアルプス鳴高者
狂ひ咲く緋木瓜あでやか誕生日
信州の景色あつめて新暦
天竜枯野採血へ腕を差し出して
流木の白骨化して冬銀河
寒夕焼面影しのぶ母忌日
山茶花のはらはら散るも浄土かな
無観客の牝馬の蹄冬晴るる
万節の歯をさしませて柿をはむ
つつましく余生へこぼる実南天
寒月光枝ぶりの影句ひ立つ
山笑ふ疫病は人を隔てけり

- 磯部セツ子
- 田中 静
- 片桐 洋子
- 森田 恵子
- 三島 里子
- 木下 眞水
- 松岡 照子
- 宮下 純子
- 林 恵美子
- 丸山 時子
- 矢島千勢子
- 池田 美和
- 細井 恵子
- 河手 洋子
- 吉川 明子
- 北原 昭子

家族みんな健康で、楽しく

筒井カツ美(中芝)




二十年以上上宿「つづい」をやっており、全国各地から中学生の体験学習やワーキングホリデーの方々を受け入れていきます。若い方と話が弾み、また、みなさんにくつろいでいただき、嬉しく思っています。今でも交流が続いている方もいます。昨年は新型コロナの影響で自粛しており、残念です。家族全員で農業もしております。働き者のいいお嫁さんにも恵まれ、幸せです。趣味は旅行ですが、今は、編み物で、帽子やマフラー

シトラスリボン プロジェクト

新型コロナウイルス感染症から生まれる誹謗中傷を防止する取り組みとして、愛媛県で始まりました。お互いを思いやり支え合う豊丘村であり続けるために、差別的な表現を使わない、誤った情報やうわさを拡散しないようにしましょう。

ウィルス感染防止はもとより、心が痛み感染を私たちで防ぎましょう。



Citrus Ribbon PROJECT

〈豊丘村川柳クラゲ豊柳会〉

▼課題「怨」 福沢勝美 選

茸取り隣りのかごは八分目 安田 喜子
越し方の怨み行為に心痛す 神橋 邪道
除夜の鐘憎しみ怨み連れていけ 林 もも子
ままならぬこと人生怨むまい 原 美風

軸吟：拉致くやし北を怨んで四十年

▼課題「室」 互 選

厳しい世温室育ちウツを病む 桃沢 健介
待合室三密あって会話なく 西元 峯子
モリカケも桜もみんな密室で 山本 義彦

▼自由吟 桃沢健介 選

友の輪を感謝と思ひ日々暮らす 鎌倉美登里
手と心掛けた千柿初出荷 市沢 照子
あの人の思い浮かべて賀状書く 小澤 凛
三密にふりまわされて年の暮れ 福沢 勝美
はやぶさはカプセル置いて又旅へ 久保ひろし
軸吟：宴自肅説いたソリーの梯子酒

〈とよおか短歌会〉
喉痛みコロナ疑い熱計る焼き鮭臭いお葉漬け辛い 福澤貴美恵
コロナ禍で幾月暮るる田園を吹き抜けてゆく風は変らず 毛涯百合子
また一人友の訃報に住所録消して今年暮れが近づく 壬生 千春
朝まだき天龍川より霧湧きて段丘を這い市田柿包む 筒井 恵子
天竜川に立ちのぼる霧帯のごと切りは眠る里の人家 北澤 秀子
年末にやらねばならぬこと多しやらねばならぬと思わぬことにす 松尾ヒサコ
天竜の川霧つつむ街灯はぼんやり黄色まるで倫敦 大原真由美
コロナ禍の最中に生れし嬰兒よラインの動画ゆ柔肌匂ふ 福澤 亀人

令和二年 村の五大ニュース

毎年恒例の「あなたが選ぶ村の五大ニュース」に「応募いただきありがとうございます」とございました。今年は150名の皆様投票してくださいました。開票の結果、館報編集委員会が候補としてあげた15項目の中から、次の5項目が上位となりました。また、上位5項目の中から、選ばれた5名の方と応募者全員の中から10名の方に記念品が贈られます。厳正なる抽選の結果、当選者は下記の皆様です。

1 109票
7月 豪雨災害
村内各地に爪痕を残す



村内各地で土砂崩れ等300箇所以上 昭和58年災害以来の被災

2 103票
新型コロナウイルスで全国斉の臨時休校要請、緊急事態宣言発出



政府は、2月に日本の学校教育史上初めての全国一斉の臨時休校を要請し、4月には緊急事態宣言を発出して、不要不急の外出自粛や店舗等への休業要請等を行った。

3 97票
竜神大橋 着工へ



地域の念願 天竜川への新たな架橋 実現へ向け一歩踏み出す。

4 89票
新型コロナウイルスで地域行事・慣習に大きな影響



各種地域行事・事業が中止・縮小される。(冠婚葬祭、春秋祭、卒業式、入学式、短期の夏休み、公民館事業・施設の利用制限等)

5 80票
コロナ禍で年が明けて中止 疫病退散を願う 代替花火を打ち上げる



とよおかまつりの開催予定日だった11月7日に花火を打ち上げ疫病退散を願った。

上位5項目の的中当選者

- 内山 裕生(柿外土)
 - 原 峰子(古畑)
 - 代田 常雄(中部二)
 - 大原 真知子(中芝)
 - 大澤 智秋(小園)
- ※5項目すべての的中された方は、5名でした。

応募当選者

- 山崎 和子(北市場三)
 - 平澤 和士(地藏道)
 - 木下 寿明(奥内)
 - 松村 英子(市ノ沢)
 - 小木曾 謙策(小園)
 - 鎌倉 美登里(中部三)
 - 村澤 二郎(南市場)
 - 酒井 みつよ(中芝)
 - 菅沼 和廣(小園)
 - 北澤 百合子(林原)
- (順不同・敬称略)

豊丘の自然

No.204

ツチガエル (アカガエル科)



新型コロナウイルスは二〇二〇年という一年間で世界中を被いつくしてしまっ。感染者数8、277万6、155人、死者数180万6、155人という数をもって(12月31日時点)。

前置きはこれくらいにして、地球全体からすれば針の先にもみたくないローカル、飯田下伊那(昭和の大合併以前の四十二市町村)に限っての「生

(山田 拓)

北の大地にそこがれて

津田 孝平

#11

海外で生活をしていて、旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初は、肉のシチューだ。北極圏伝統の料理



で数時間かけてトナカイの骨を煮込み、出汁をとり、ブラウンソースで味を調える。誕生日やイベントなどパーティーの際は必ず振る舞われる。ブラウンソースの香ばしさとトナカイ肉のうま味が混ざりとても美味しい。家庭ごとに味も違い、肉を吊るす紐が指に食い込む痛みは忘れられない。

二食目はゴヒキベラゴ。トナカイの干し肉だ。冬の間に仕込んでおいた干し肉は味が染みていて、小腹が空いたときのおやつや、仕事の合間の間食、キャンプの際には重宝する。ただ干し肉を冬場に干す際に、肉を吊るす紐が指に食い込む痛みは忘れられない。



ゴヒキベラゴ



マルルフィ

ナカイの血で作られるソーセージ。小麦粉、塩、トナカイの血を混ぜ、トナカイの腸に詰めて煮込む料理だ。北極圏でも普段から食べている料理ではなく、マルルフィを作った日は親戚一同がわざわざ食べに来るほどだった。野菜の物流がなかった頃はトナカイの血や内臓、脳なども食べて栄養を摂っていたそうだが、調理方法が難しく、今ではほとんど食べられていない。味はと言えれば何とも言えない。そう、何とも言えない。

撮りテクニク

写真初歩テクニク5

カメラを手にして間もない頃は、風景にしても夢中でシャッターを切り写真を楽しむものです。そのうち何か足りなかつたり満足できる写真が思うように撮

れなかつたりするものです。この原因は写真も絵画と同じバランスと何を描こうとしたのかが見えていないから。まずは基本となる構図を解説してみます。

基本構図は写真のバランスを整え見やすく自分の気持ちを写真の中に反映できる

はじめに基本構図のひとつ「分割法」からみていきましょう。ファインダー内

三分の一、山と青空を残り三分の二として両者を結び空間を冬のりんごの木で埋めてみました。ここでの見



せ場は一番手前に置いた庚申さまです。冬の寒さの中に耐える石仏をゆつたりと表現したかった、撮りたいものは下から半分より下に配置し、重心を安定させる効果を盛り込んでいます。撮りたいものは最低距離五メートル以内に収めることはとても大切です。



下のどんど焼きは縦での分割構図を当てはめ作りました。青空とおんべを三分の一内にまとめて入れ込

み、残り三分の二は白い煙だけにしました。こうしていかにシンプルにして目的のホンヤリ様をどうしたら引き立つかを考えるところになると思いました。周囲が家や木々などの素材ばかりで目立たなくなることを避けた訳です。この手法は物足りなさを感じさせますが、組み写真としてならば物語の一コマとして使える大切な一枚となります。四角の写真の中で使う色も重要となります。赤系の色彩と青の空、ここでは緑色も使って三色だけで見せることもいかに簡素化させるかが大切な要素となります。内容の濃い写真もすこしい簡素化された分かります。

写真と文：宮下正弘